

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回太子町総合教育会議
開催の日時	令和5年2月24日（金）午前10時～午前11時50分
開催の場所	太子町役場 行政棟3階 災害対策室（ホール）
出席者	（町長） 沖汐 守彦 （教育長職務代理者） 福田 秀樹 （副町長） 榮藤 雅雄 （教育委員） 福本 充治 （総務部長） 森田 好紀 （教育委員） 杉本 泰代 （生活福祉部長） 嶋津 一弥 （教育委員） 竹澤 秀代 （教育次長） 栗岡 正則
陪席者	陪席者（総務部総務課長） 中井 義之 （総務部財政課長） 佐々木 信人 （生活福祉部社会福祉課長） 北 陽一郎 （教育委員会管理課長） 改野 学由 （教育委員会社会教育課長） 大谷 康弘 事務局（総務部企画政策課長） 熊谷 恵之 （総務部企画政策課係長） 井出 洋平
傍聴者	なし
議事	(1) 令和5年度に予定されている組織改編のうち、教育委員会が所管することになる事務と、所管替えの狙いについて (2) 教育委員会が従来から提案してきた幼稚園教育の集約化を含めた存続が、今般の組織改編により、どのように影響を受けるか、また今後の幼稚園教育に関する町長のお考えについて (3) その他
会議の概要	別紙議事録のとおり
公開・非公開の区分	公開
使用した資料	次第・令和4年度第1回太子町総合教育会議資料
連絡先	総務部企画政策課 TEL:079-277-5998 FAX:079-276-3892

1 開会

事務局

(熊谷企画政策課長)

失礼いたします。定刻となりましたので、ただ今から令和4年度第1回太子町総合教育会議を開会いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます、企画政策課の熊谷でございます。よろしくお願いいたします。

まずはじめに、沖汐町長からご挨拶を申し上げます。

2 あいさつ

沖汐町長

本日は、大変お忙しい中、令和4年度第1回太子町総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、平素は、町教育行政の運営に格別のご配慮を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

まず、先のトルコ南部のシリア国境付近にて発生しました地震に際しては、本町においては、14日より兵庫県が中心となり設立した義援金の募集を町内各所で開始しておりますが、太子西・東中学校の生徒におかれても、13日から街頭募金活動を実施してくれております。この場を借りて感謝申し上げるとともに、一町民として大変誇らしく感じているところでございます。

さて、最近では、長引くコロナ禍についても、マスク着用についてのルールが変わろうとしており、さらに、5月以降は、感染症法上の位置付けの「5類」への変更など、ウィズコロナ・アフターコロナ社会へシフトしていく形がはっきりと見えてまいりました。一方、この3年間の影響は、安全・安心の住民生活のみならず、学校園での子どもたちにとっても、非常に大きなものとなっており、新たな日常の中での教育の在り方、繋がりや関わりが、今後の大きなテーマとなってくるのではないのでしょうか。

本日の会議では、初めてご出席いただく竹澤教育委員もいらっしゃいます。本町教育のビジョンや課題を共有し、連携・協力して教育行政を推進していくことができましたら幸いです。この度は、先日、福田教育長職務代理者より頂戴しました、「組織改編関係」及び「幼稚園教育の今後」などの主に2点について、限られた時間ではございますが、せっかくの機会でございますので、発展的で忌憚のない意見交換ができればと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

(熊谷企画政策課長)

それではまず、この会議の構成員を確認させていただきます。

お手元の資料の1ページに構成員名簿をつけさせていただいております。この名簿のとおり、本会議は、町長部局より、町長、副町長、総務部長、生活福祉部長の4名が参加いたします。また教育委員会からは、福田教育長職務代理者、福本教育委員、杉本教育委員、竹澤教育委員、教育次長の計5名が参加されます。

また、陪席者として町長部局より総務課長、財政課長、社会福祉課長、教育委員会より管理課長と社会教育課長が出席しております。

なお、事務局は、企画政策課の 私熊谷 と 井出 が担当いたします。

3 議事録署名委員の選定

事務局

(熊谷企画政策課長)

次に、次第の「3」、議事録署名委員の選定につきましては、本日は 福本充治委員 と杉本泰代委員 をお願いしたいと思います。

お二人には、後日、事務局がまとめました議事録をご確認の上、署名をお願いいたします。

4 議事

事務局

(熊谷企画政策課長)

次に、次第の「4」、議事に移ります。1月31日付で教育長職務代理者より、2点の事項について、本会議で協議したい旨の要望を頂戴しました。お手元の資料の2ページをご覧ください。1点目は、「令和5年度に予定されている組織改編のうち、教育委員会が所管することになる事務と、所管替えの狙いについて」でございます。2点目は、「教育委員会が従来から提案してきた幼稚園教育の集約化を含めた存続が、今般の組織改編により、どのように影響を受けるか、また今後の幼稚園教育に関する町長のお考えについて」でございます。

それではまず、1点目の組織改編関係について、町長の沖汐より、現段階での考え方などについて、ご説明を申し上げます。

沖汐町長

組織改編については、子育てに関して町長選挙の期間中も個人的にたくさんの方からお話をいただきました。

例えば、様々な支援が必要な子どもたちがいる中で、窓口行った時に、縦割りになっているのではなく、窓口を一本化してワンストップの体制を作ってもらいたい。これが1点目です。

それから2点目は、国の方針がまだ出ていないのですが、内閣府、厚生労働省、文部科学省などが、それぞれの縦割り行政をとっばらって、子どもに関しての政策を一本化する動きが、6月頃に表に出てくるように聞いています。それから組織を動かし出すと現場が混乱するであろうことを踏まえ、令和5年4月より、走りながら組織の体制を整えていこうとしています。

子育て関連三法の手当給付業務以外の部分を教育委員会部局の執務室へもっていき、準備室のような形で進めていきたいと考えています。管理課と社会教育課を含めたスペースの問題もありますが、今後内部協議を詰めていきたいと思います。

今後は、6月の国の方針を受け、大体8月頃までを目途に教育委員会部局などと協議をして、組織の案を固めていきたい。そしてその案を9月あたりで関係団体等と調整を行うことなどを想定しています。10月以降は、条例等の整備の必要性やこれに付随した会議等を行い、12月議会に上程すべきものはここを目標にやっていきたい。この大まかな計画に照らし、新年度予算編成前までに、所掌事務の割り振りなど検討を含めて結論を出していきたいと考えています。

この協議に際しては、役場職員の負担や手間というよりも、視点として住民目線を第一に考えていきたい。これを基本としています。

必要に応じて内部での協議を行いながら、この総合教育会議においても情報共有を行っていきたいと思いますが、私の思いとしては教育委員会に一元的な窓口を設置をしたいと考えています。

福田教育長職務代理者

町長は、今回の施政方針の中でも子ども支援課の話をされていて、私もそれについては以前から大賛成でした。

太子町の教育の課題は、細かいことになっていきますが、やっぱり不登校が非常に多いことです。相談センター的な役割を町で設けるとするのは難しいと思いますが、それぐらい家庭に様々な課題を抱えた方々が悩みを相談に来られます。そういったものに真摯に対応できるような組織があったらとは考えています。

他方、スクールソーシャルワーカーを早い段階から置いていただき、今回またそれを正規職員という形で配置していただき、近隣の町ではあり得ない体制でもあり、感謝しています。

また、課題としては、住民目線という中で、例えば社会教育課の所掌事務の問題があります。学童保育にしても、子育て支援課にもっていく前にまず社会教育課に事務を移管するということになると、令和4年度は社会福祉課、令和5年度は社会教育課、令和6年度は子育て支援課とたらい回しになっているように感じます。令和5年度はあくまで社会福祉課のまま、1年間をかけて保護者の声なども聴きながら総括、整理することが必要ではないでしょうか。今年度も残り1か月というところになって移管するということについては、個人的に疑問に感じるところです。

沖汐町長

私自身、学童保育に半年間携わりました。例えば、体験入園に来た子があまり馴染めない、1人でポツンとしているということがあった場合、学校での様子を聞いたアドバイスをもらうなど連携を図ることで、学童保育園での活発な活動へつなげることができます。こういった連携が非常に重要であるという認識の下、移管することを考えたところです。さらに、放課後の子どもの居場所作りについて、今社会教育課が大きな事業として取り組んでおり、学童もある意味子どもの放課後の居場所作りであると考えています。個人的な意見も含んでいますが、そういった意味で社会教育課の所管が適切ではないかと考えていましたが、社会教育課の考えもある中で、令和6年度以降、子ども支援課へ学童を移管する考えに照らし、令和5年度は子ども支援室に事務を置き、先ほど福田委員もおっしゃったように、保護者の意見やアンケートなど実体を踏まえながら、整理していければと考えています。いずれにしても、子育て関係の窓口を縦割りにせず一本化して、住民目線でやっていきたいということにつきます。

福田教育長職務代理者

私の個人的な感覚ですが、子どもの放課後の居場所作りとして社会教育課が実施してる事業は、学童保育とは全く違うものだと考えています。縦割りはよくありませんが、ごちゃ混ぜにしてしまうのもよくありません。教育と福祉とが混在することで起きる混乱もあります。このあたりは1年の間にしっかりと整理しないと

ないと思います。

所管にしても様々な考え方があり、目玉施策として町長部局に置く、また、教育委員会部局に置く考え方もあると思います。教育委員会部局の中に閉じ込める形にすれば、小さくまとまってしまう気もしますので、大いに検討が必要であると考えています。

沖汐町長

町としても、国の方針に準拠する形が望ましいと考えています。

福本委員

今はまだ国の方針が出ていないので、令和5年度は令和4年度と同じ体制が最も混乱が少ないと考えます。行政が国の動きによって様々な検討を行うことは仕方ありませんが、見切り発車のような形で住民の皆さんに影響が出ることを懸念しています。

沖汐町長

令和5年度に子育て支援室を稼働させ、動きながら課題等を整理していかなければ、机上の検討では問題点などが見えてこないと考えています。現実問題として、6月の国の方針をまって人員を動かすことは困難であります。また、それからでは間に合わないという部分もあります。委員が懸念されるデメリットばかりではなく、機動的に国の方針に対応できるなどのメリットも大いにあると思っていますので、場所的（執務場所）な部分も含めて進めていきたいと考えています。

竹澤委員

走りながら進めていくという部分は理解しました。一方、皆現在の事務をもちながらとなります。適切な業務分担という意味で支障はないのでしょうか。

沖汐町長

今分担されている業務をもって執務場所が替わるというイメージです。よって、原則仕事量はそのままということにはなりますが、連携することにより生じるプラスの業務が出てくるようであれば、当然、人の手配は行うという考えです。

福田教育長職務代理者

令和6年度に子育てに関する一本化の窓口を作ることに反対の教育委員はいないと思いますが、繰り返しになりますが、走りながらというよりは、1年間総括をし、きっちりと体制を整理した上で令和6年度にスタートということでは難しいでしょうか。

沖汐町長

国の子どもに関する政策を一本化する動きが、6月頃に表に出てきてからでは、町組織の現状などに鑑みると間に合わないと思います。従来縦割りの考え方が弊害として出ることも想定されるため、政策的にスタートさせて動かしていくという考え方は堅持したいと思います。

杉本委員

子育て世代の親からすれば、一本化ということは賛成です。

福本委員	令和 5 年度に住民及び職員の方が混乱しないよう、緊密な連携体制をとっていただき、しっかりとした采配をお願いしたい思います。
沖汐町長	国の方針を受けた町の素案が固まりましたら、総合教育会議のみならず、定例教育委員会の場などを通じて情報共有をさせていただきます。
事務局 (熊谷企画政策課長)	<p>ありがとうございました。一番目の議題につきましては、住民の皆様を中心としまして、両部局の向いてる方向は概ね一致してるかと思われま。今後は内部調整をさせていただきながら 4 月からスタートしていく、適宜情報共有を行っていくということで進めさせていただきたいと考えています。</p> <p>それでは、2 点目の幼稚園教育関係について、町長の沖汐より、現段階での考え方などについて、ご説明を申し上げます。</p>
沖汐町長	<p>個人的には、太子町の幼稚園は 1 つに集約することで良いのではと考えています。しかし、現実の問題として、直近で各幼稚園の耐震化や改修を実施してきた経緯を踏まえると、直ちに集約することは難しいとも考えています。また、場所の問題として、私は役場の跡地がどうだろうと考えるところがあるのですが、この場所を幼稚園・就学前に使うのは勿体ないという意見も住民の方からかなり聞いています。さらに、財政上の問題もあります。旧庁舎跡地、旧給食センター、児童館、中央公民館跡地などの活用方法に加え、保健福祉会館や文化会館の今後の在り方等、これらの懸案事項を優先して解決しなければいけません。</p> <p>総括しますと、一本化の思いはありますが、財政上などの理由により、すぐに実行に移すのは難しいという状況でございます。</p>
福田教育長職務代理者	<p>教育委員会で昨年その話をした際、幼稚園の園長先生からも聞き取りをしていますが、やはり将来的には一本化という意見でした。こども園化については、これだけ私立の民間の保育所やこども園が多くある中で、これらを圧迫してはいけないと思います。両立していく中で、保育所関係は民間に任せる。一方で幼稚園は公的機関として教育をきちっと行うという形ですみ分けた方が良く考えています。</p> <p>また、場所の問題としては、龍田幼稚園の園児数が少ないという状況も踏まえ、龍田地区にある総合公園内に集約化した幼稚園を造り、既存の他の体育施設などと併せて複合的なものがないかと話しをしていたところです。</p>
榮藤副町長	公園施設の中に教育施設を造るということについては、制度上かなりハードルが高いです。総合公園も整備が継続している状況もありまして、今の公園内にということとは不可能に近いと考えています。
福田教育長職務代理者	場所的には良いところであると思ったのですがそのようなルールがあるのですね。

福本委員	<p>時期的にどのあたりを目標にということを示していただければありがたいと思っています。様々な問題や優先順位があることは承知していますが、スピード感が求められているのではないのでしょうか。</p>
沖汐町長	<p>やはり財政上の問題があります。また、民間こども園や保育園についても様々な動きがあるものと承知しています。さらに、幼稚園の園児数の減少に伴い、先生方の数の問題なども出てきます。</p> <p>しかし、このような状況ではありますが、龍田校区の子どもの数が減ったからといって、龍田から教育施設を無くすということは考えていません。一方、保護者や地域の声を聞きながら、今後の在り方については検討していく必要があると考えています。</p> <p>今後、龍田幼稚園は園児がゼロという状態になる年度も見込まれます。これが一定程度続いた場合の対応については、教育委員会においてしっかりと検討していただく必要があると考えています。</p>
福田教育長職務代理者	<p>話は少しそれますが、現在、宅地開発など、町全体として人口増に向けた計画などはあるのでしょうか。</p>
沖汐町長	<p>農業を推進する場所、特区などの制度を利用する場所など、それぞれの地域に応じた施策を考えています。例えば、揖保線の延長に伴い、調整区域の除外に係る米田地区・沖代地区の土地調査アンケートの実施を予定しています。これは、今後農業をしないという意思表示にもなりますので、重い決断をいただくことになるものですが、一定の割合で同意いただければ、進めることができると考えています。</p>
榮藤副町長	<p>根本的な部分として、太子町だけで市街化区域・調整区域を変更できるわけではないということがあります。現段階で現実的なのは、協議会を設立し、新規で住宅を建てる場所、農地として利用する場所、既存の住宅の場所といった具合に地区計画を立てるということです。</p> <p>しかしながら、まだ市街化区域の中にも農地が残っている状況もあり、また、空き家の問題もありますので、給食費に関する施策や子育て世代の医療費に関する施策等を含めて人の流れを作るというのが、現在取り組んでいる内容であります。</p>
福本委員	<p>民間こども園等に様々な動きがある中で、町として公立幼稚園一元化の方向性であることのメッセージなどは発出しなくてもよいのでしょうか。</p>
榮藤副町長	<p>非常に大きな話ですので、次期総合計画の中で方向性について触れるといった調整になりますでしょうか。</p>

沖汐町長

場所の問題も大きな課題です。思いとしては、龍田地区や石海南地区も活性化という意味で考えていますが、区域の問題や財政上の問題など、様々な課題に向き合いつつながら検討を進めていきたいと考えています。

事務局

(熊谷企画政策課長)

様々な意見交換をありがとうございました、幼稚園教育の方向性については、今後も継続協議ということになりますでしょうか。引き続き、こういった場での議論を行いながら進めていければと考えています。

それでは最後に、その他ということで、全般におきまして、どんな内容でも結構です。ご意見等ございましたら、よろしく願いいたします。

沖汐町長

繰り返しになりますが、6月頃に子育て施策に関する国の方針が出てくる予定ですので、その際は情報共有をさせていただきながら進めてまいりますので、よろしくお願い致します。

もう一点、今年度は選挙などの関係で予算協議がしっかりとできていませんでしたが、次年度は重点施策等について、協議する場を設けてまいります。

5 閉会

事務局

(熊谷企画政策課長)

それでは、これで本日の議事は終了しましたので、閉会にあたりまして、福田教育長職務代理者よりご挨拶をいただきます。

福田教育長職務代理者

町長・副町長をはじめ幹部の皆様にご集りいただき、有意義な会をもつことができたことに感謝申し上げます。夢を語るような内容があれば現実的には困難な状況もあるという部分も説明いただき、初めて分かったことも多くありました。一緒になって新しいまち、子どもたちの瞳が輝くまちを創っていきたいと思います。

一点だけお伝えさせていただきます。先日、太子町で大雪が降ったのですが、大変な渋滞で何時間も閉じ込められていたトレーラーの運転手の方より、斑鳩小学校の職員の方が臨機応変に対応してくださったことや、近所の方がおにぎりやバナナを差し入れしてくださったことなど、本当に太子町の方々の優しさが温かく、こんな優しいまちに住みたいといった内容のお手紙をいただきました。

今後も、太子町を素晴らしいまちにすべく、微力ながら私たちもお手伝いさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。